CC-2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所　湯川記念館史料室

日本の原子力開発

（下）ニューヨークでの座談会

教育は二十年計画で

ロシア語学ぶ米科学者

AUG 26 1956

物すごい米ソの競争

武田　去年のジュネーヴ会議ではアメリカ側がソ連にたくさん教え過ぎたっていうような声がアメリカ国内で大分あったようです。

湯川　いや、この競争はすごくはげしいな。

木庭　ソ連の百億電子ボルトの

出席者

京大教授、京大基礎物理学研究所長、原子力委員会委員
湯川秀樹

東京教育大助教授
福田信之

京大基礎物理学研究所教授
木庭二郎

東大原子核研究所教授
武田暁

【本社側】今井北米総局長、奥田特派員

か……

福田　とにかく、ソ連は重要な基礎研究には滅茶苦茶な力を入れていますね。

湯川　アメリカでは目下、一兆

ろがあるんじゃないかな。物理研究の加速器で国力のシンボルを競おうというのは、大へん結構なことだ。国力を示すために水爆や原爆で競争をやられたんではかなわ

ソ連はなぜ伸びたか

湯川　イギリスでパウエル教授がいっていたが、ソ連では非常に大量に科学技術者を養成しているが、イギリスは非常に立遅れている

に教育制度、第二に政府の基礎科学に対する態度が変って、研究費に制限がなくなったということ、第三に科学者の優遇です。ヨーロッパに比べるとアメリカの科学者の待遇は、たしかに二、三倍もいい。ところが、ソ連はまたその二、三倍もいいらしい。

湯川　サラリーが安いと、研究費は結局、雑費に食われてしまう。アメリカのように、自分のサラリーで何人か助手がやとえるとい

上げて、月給を上げてくれないかな。（笑）

実用的な外語教育を

本社　日本人は実際、アタマはいいのだとわれわれも思うんですが。

湯川　最近のように交通機関が発達してくると、どうしても外国に来てじかに話をする必要ができてくる。そうすると、言葉がハンディキャップですね。せっかく優秀な能力と研究業績があっても、言葉が通じないのではどうにもならない。損ですよ。とにかく、従来の語学教育の観念を改めて、思い切って実用的な外国語を教えるようにするんだな。みんなが英文学者になるわけでもないのにシェークスピアなんかばかり習ってもちっとも英語はうまくならない。特に日本語の構造が世界中で独得なものだし、それに、日本人はすばらしく自意識が強いから、よほど語学教育を考えないと……

福田　今に日本の研究レベルが非常に上って、外国人が日本語を省わなくちゃ、なんてことになれば別ですが、それまでは……しかし、最近アメリカに優秀な若い人が留学に来るので、たしかに日本人の信用は高まりましたね。いいことだ。

湯川　中国人にも若い優秀な人がいるようだね。

武田　アメリカでも優秀なのは実に優秀です。そういう有能な連中は、何か新しいことがらが起ると、長距離電話一本ですぐ話をして、討論する。学校別のグループといったものはない。

湯川　日本でも雑用の打合せなら、電話をかけるが、長距離電話で学問上の討論などはちょっとやれないな。（笑）

米の中堅二、三十人

福田　大学や研究所が電話代まで持ってはくれませんからね。ところで、アメリカの中堅的グループというのは結局二、三十人です。これが中心になって、いつも交流している。しかし、アメリカでも理論物理となるとなかなか競争がはげしい。いい所にいい条件で就職するのは大へんだ。

木庭　しかし、なんといってもアメリカでは研究の条件や環境はずっといいことは事実だ。日本ではちょっと考えたからといって、すぐコスモトロンやベヴァトロンで実験するわけにはいかない。

湯川　ブルックヘヴンでも液体ヘリウムを余り濫作なくふんだんに使っているのには驚いた。日本であんなことしたら大へんですよ。

（終り）

物すごい米ソの競争

木庭　ソ連の百億電子ボルトの加速器シンクロファソトロンは今後四年間、世界の最高となるわけです。しかし、ソ連は新しい設計をせず非常にぜいたくな安全な設計をやったと、アメリカの学者はいっている。鉄やその他の材料をもふんだんに使い、たとえば、建設期間を九カ月短縮するために、液冷にせず空冷方式を採用したと

電子ボルトの加速器をつくることを、採択するかどうかで迷っているところです。もっとも、これは百億電子ボルトのエネルギーの粒子を二つ作って、ぶつけてやる方式だけどね。イギリスの南部にウインチェスターとかソールスベリーとかいう古い都がある。そこには大きな寺院があるが、これらはノルマン人の征服当時、その威信を示すために、大きな教会を造った名残りだそうです。今の加速器の競争はちょっと、そういうとこんかからね。（笑）

福田　とにかく、米ソ両方とも互いに非常によい刺激を覚えつつあるようです。ソ連の学界に出たペンシルヴェニア大学のブルックナー氏の帰国報告を見たが「われわれはロシア語をやらねばならぬ」と書いてある。

木庭　従来、アメリカの大学をまわっても、図書室にソ連の雑誌はめったになかったが、去年あたりからぽつぽつ出て来たようですね。

る。しかし、教育に関してはどうしても二十年計画でなければならぬというんだね。米国も一、三十年前には科学的には大した国ではなかった。それがいま現在のようになった。新中国は十二年計画をたてているそうだが、日本も教育に関しては二十年計画でやるべきだと思う。

福田　さっきのブルックナーの報告ですが、ソ連がなぜこんなに伸びて来たかということについて、彼はこう指摘している。第一

いいんですがねえ。

木庭　とにかく、物理学者は正直ですね。アメリカの連中は、ソ連のいい点を遠慮なく取上げている。

福田　日本も米ソのいい点を取